

推進工法用 作泥材

エフロング

エフロングは、従来の作泥材のような粘土・ベントナイトを大量に必要としない一体型作泥材料です

特徴

- ◆ 低比重のため送液性に優れており、特有の粘性特性により掘削土砂の運送も良好です。
- ◆ 砂層等の掘削土の排出であっても排泥管内に掘削土が沈降せずスムーズに排出できます
- ◆ 基本配合+少量のエフロングで粘度の微調整も可能です。
- ◆ 少量配合ですので、省スペース化、作業効率の改善ができます。
- ◆ エフロングは有害物質を含まず中性で安全性の高い材料です。

性状・荷姿

外観	淡黄色粉末
pH	8.5~10.5
嵩比重	0.8~1.2
荷姿	18kg 紙袋(内ポリ仕様)

配合手順

- ① 所定量の清水をミキサーに投入する。
- ② 目詰材(TG ブロック)を使用の場合は、先に目詰材を投入し十分攪拌する。
- ③ ミキサーを回転させたままエフロングを少量ずつ投入する。
- ④ 粉末粘土を使用の場合は、エフロング投入後に粉末粘土を必要量ミキサーに投入する。
- ⑤ 10分程度攪拌した後、圧送開始

取扱上の注意

- ◆ 工事関係者以外は取り扱わないでください。
- ◆ 指定した材料以外のものとの混合はしないでください。
- ◆ 高温、多湿とならない一定の場所に保管してください。
- ◆ 眼に入った場合は、大量の水で少なくとも15分以上洗浄し、直ちに医師の診察を受けてください。
- ◆ 誤って飲み込んだ場合は、直ちに医師の相談を受けてください。
- ◆ この商品を破棄する場合は産業廃棄物専門業者に委託してください。

配合表

種目	単位	土質区分による配合(m ³ あたり)						
		A	B-1	B-2	B-3	B-4	C-1	C-2
エフロング	kg	18	24	36	42	48	9	24
TGブロック	kg	8	10	12	12	14	0	10
水	kg	986.3	982.3	975.9	973.6	969.6	996.4	982.3

*TGブロック;目詰材(逸泥防止材)

土質区分	区分内容
A	粘性土(N値 5 未満)砂質土(N値 25 未満)
B-1	砂質土(N値 25 以上)砂礫土(礫率 30%未満、最大礫径 20mm 未満)
B-2	砂礫土 礫率 30%以上 40%未満
B-3	砂礫土 礫率 40%以上 60%未満
B-4	砂礫土 礫率 60%以上 80%未満
C-1	硬質土(N値 10 以上,qu<5MN/m ²)
C-2	硬質土(5MN/m ² <qu<200MN/m ²)

*作液する際に使用する水は清水(水道水など)をご使用ください。

*上記の性状は一定条件下での試験結果であり必ずしも実使用時の性状とは一致しません。

テクニカ合同株式会社

(本社 神戸事業所)〒658-0015

神戸市東灘区本山南町8丁目6番26号 東神戸センタービル12階

TEL078-436-0280 FAX078-451-0257

(東京事業所)〒170-0013

東京都豊島区東池袋3丁目9番10号 池袋FNビル1階

TEL03-6907-2566 FAX03-3985-8611

(神戸研究室)〒652-0884

神戸市兵庫区和田山通1丁目2番25号 D棟405号

TEL・FAX078-671-1190

(大阪工場)〒577-0067

大阪府東大阪市高井田西4丁目1番9号

TEL06-4309-7340 FAX06-4309-7341

URL:<https://www.technica-goudou.co.jp/>

